

米、ベネズエラ大統領拘束

トランプ氏「大規模攻撃に成功」

トランプ米大統領は3日、南米ベネズエラに「大規模な攻撃を実施し成功した」とSNSで発表した。「マドゥロ大統領と妻は捕らえられ、ベネズエラ国外に空路で移送された」とも述べた。米政権はマドゥロ氏を米国内法廷で裁く意向を表明。ただ、攻撃については国際法違反の疑いがあり、軍事力による首脳の排除を強行したことで、国際秩序に打撃を与えることも懸念される。

▼3面＝考論、4面＝各国は

国際法違反の疑い

トランプ氏のSNSへの投稿に先立つ現地3日午前2時（日本時間午後3時）ごろ、ベネズエラ首都カラカス周辺では複数の爆発音と、低空飛行する航空機の音が確認され、一部で停電が発生したと報じられた。

米国はマドゥロ政権を合法的な政権と認めておらず、カリブ海や東太平洋で麻薬運搬船と認定した船舶への空爆を続けてきた。「麻薬対策」を理由に掲げてきたものの、十分な根拠を示していない。トランプ氏はSNSで、今回の作戦について「米国の法執行機関と連携して実施された」と説明した。ただ、ベネズエラの主権が及ぶ領土を直接攻撃し、国家元首の拘束にまで踏み切ったことは、国際法上の正当性が厳しく問われる行為だ。

ベネズエラの
マドゥロ大統領

トランプ米大統領

3日、米国が「麻薬テロ」などの罪で訴追しているマドゥロ氏夫妻について「米国内の法廷で、米国の司法による厳しい罰に向き合うことになる」とX（旧ツイッター）に投稿した。

トランプ氏は3日朝、米FOXに、マドゥロ氏を米ニューヨークに移送中だと明らかにし、ベネズエラの次の政治体制については米国が関与して決めるとの意向を示した。トランプ氏がマドゥロ氏の拘束を発表する前、ベネズエラの政権は「米国による軍事侵攻を拒否する」と非難する声明を出し、全土に非常事態宣言を出していた。

米国はマドゥロ政権に

圧力をかけるため、昨年8月からカリブ海への大規模な軍事展開を進めた。12月末にはトランプ

氏が、麻薬を積み込んでいる港湾施設を攻撃したと発言。ベネズエラへの初の地上攻撃だったとみられている。

（ワシントン＝青山直寛）

◇ 日本外務省は3日、在

ベネズエラ大使館に現地対策本部を、同省に連絡室をそれぞれ立ち上げたと発表した。3日時点でベネズエラには約160人の邦人が滞在しているが、被害は確認されていないという。



ベネズエラの首都カラカスで3日、爆発により煙が立ち上る様子。第三者提供＝ロイター